

事業名	庁舎管理事業	総事業費	52,913 千円
-----	--------	------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	財産の有効活用
	基本事業名	公共施設等総合管理計画の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	庁舎機能を良好な状態に保ち、快適に安心して利用できる環境を保持する。	
事業の実績 と成果	取組内容	庁舎建設後27年経過し、設備類の運転状況や耐用年数から本格的な設備更新時期を迎えており、修繕計画に基づき設備類の修繕を実施した。受変電設備・個別空調設備の状態が良好なことから修繕を先送りにし、定期検査で長年、既存不適格の判定が下りていたエレベータ2号機の更新を行った。照明設備のLED化に関しても非常電源接続照明を除いたLED化を行った。外壁塗装については、老朽化の著しい正面玄関及び掲示スペースの塗装改修を行った。
	成 果	修繕計画に基づき吸收冷温水機修繕の予防的修繕を行うとともに、消防設備のうち誘導灯について優先的に更新を行った。エレベータ2号機が現行法（戸開走行保護装置、耐震対策）に適合させるとともに、消費電力を抑えるため油圧式からロープ式への更新を行った。照明設備のLED化（非常電源除く）に関しては、更新費用を抑える工法で実施し、更新率としては前年度末の74%から86%となつた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	施設の予防保全・長寿命化の観点からは中規模修繕（機能回復）の時期を迎えており、特に、外壁防水塗装、窓枠更新、照明リモコンスイッチ更新を行う必要があるが事業費が高額となっている。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	庁舎建設後27年経過し、今後も修繕に掛かる費用は増加が見込まれる。 財政的に厳しい状況にありながらも、維持経費の節減が見込まれる機種の選定や工法の工夫などを行いながら、安全に最大限配慮して対応を行っている。 今後も計画的な修繕を行うとともに、急な故障などによる改修計画の変更がされていることを踏まえ、点検して計画の見直しも行う必要がある。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	庁舎建設後27年経過していることから、修繕対応箇所が増大している。優先順位をつけた予防保全的修繕に取り組む。
-----------	--

事業名	公有財産管理事業（公共施設等総合管理計画強化事業）	総事業費	4,928 千円
-----	---------------------------	------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画の位置づけ	施策名	財産の有効活用
	基本事業名	公共施設等総合管理計画の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	個別施設計画を主要施設全体に拡げ、インフラ系長寿命化計画、公営企業の経営戦略も加え、公共施設等総合管理計画を実行性の高い計画へバージョンアップを図る。併せて、固定資産台帳との連携を図り、財務分析の高度化を目指すことによる、資産管理の高度化・財政規模の適正化を図る。	
事業の実績と成果	取組内容	公共FM（ファシリティマネジメント）を本格導入するため、既存の固定資産台帳や個別施設計画等と連動する公共FMデータを構築し、公共施設群の見える化を図り、公共FM戦略等を通じた、経営資源の最適化を図ることを主な目的として取り組みを進めている。 令和5年度においては、公共施設等総合管理計画改訂版案の作成を行った。
	成 果	令和4年度決算における貸借対照表の附属明細書（有形・無形固定資産の明細）の作成、固定資産台帳整備、個別施設計画・公共施設等総合管理計画の改訂版案の作成等が成果として挙げられる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	公共施設等総合管理計画の基本方針については理解が進んでいると思うが、公共施設整備において、予算計上前の計画策定段階における公共施設等管理運用検討委員会での検討体制が上手く構築できていない。長振ローリングとの連携等を検討していく必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	公共施設等総合管理計画の実質的な運用において、固定資産台帳の精度が阻害要因となっている。 これまでの取組でかなり精度は向上してきており、実用化の段階であったが、係全体の業務量の増により、進捗管理が十分に行えなかった。 次年度に向けて、整理を行い、公共施設等総合管理計画の見直しにつなげていきたい。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	公共施設マネジメントの仕組みづくりと、公共施設等総合管理計画の実行性を高める取組を行う。
-----------	--